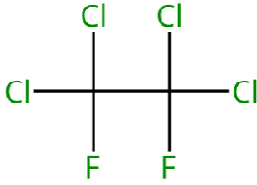


化学物質管理のための濃度基準値及び測定方法

No.2024_76-12-0

物質名 (CAS)	テトラクロロジフルオロエタン (別名CFC-112) (76-12-0)			
濃度基準値	八時間濃度基準値	50 ppm	短時間濃度基準値	—
物性等	分子量	203.83	構造式 	
	融点	26°C		
	沸点	93°C		
	密度	1.6447 g/cm ³ (25°C)		
	飽和蒸気圧	54.8±0.16 Torr (25°C、推定値)		
	飽和蒸気圧濃度	72105 ppm		
	飽和蒸気圧濃度/濃度基準値	1442		

SciFinder®

測定方法の一例

以下に示す測定方法は、文献調査等を基に作成された一例であり、利用に当たっては、使用者が事前に確認を行う必要がある。

測定方法	
固体捕集方法—ガスクロマトグラフ分析方法	
文献情報	
タイトル	(1) 1,1,1,2-TETRACHLORO-2,2-DIFLUOROETHANE and (2) 1,1,2,2-TETRACHLORO-1,2-DIFLUOROETHANE, Method No.1016
著者	NIOSH
資料名	NIOSH Manual of Analytical Methods (NMAM), Fourth Edition
巻, 頁 (出版年)	Issue 2, - (1994)
備考	—
捕集	
サンプラー	ヤシ殻活性炭管 (100 mg/50 mg)
捕集流量	0.01~0.035 L/min
捕集時間	—
採気量	0.5~2 L
分析	
前処理方法	抽出/脱着溶媒: 二硫化炭素 (1 mL) 操作: 静置 (30 mm)
分析方法	装置: ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器 (GC-FID) カラム: ステンレスカラム (3 m×3 mm) (10% FFAP on 80/100 mesh Chromosorb WHP)

評価		
測定範囲	評価基準	1. 測定範囲が濃度基準値の1/10から2倍の範囲をカバーすること。
	採気量	14 L
	濃度範囲	2.6～172 ppm
	評価結果	○
抽出/脱着率 又は添加回収率	評価基準	1. 濃度基準値の1/10の濃度で捕集剤からの脱着率や添加回収率が75%より良好であること。
	濃度	34～146 ppm
	抽出/脱着率又は添加回収率	105%
	評価結果	濃度基準値の0.68倍の濃度での脱着率や添加回収率が75%より良好である。
保存安定性	評価基準	1. 濃度基準値の1/10から2倍において、捕集試料の冷蔵時の保存安定性が90%を超えること、または溶液試料としてその値を確保できることが推測されること。
	濃度	—
	保存条件	—
	保存日数	—
	保存率	—
	評価結果	濃度基準値の1/10から2倍において、捕集試料の保存安定性が90%を超えるデータが示されていない。捕集後、速やかに測定すること。
破過	評価基準	1. 濃度基準値の2倍の濃度で破過なく測定できる条件があること。
	濃度	839 ppm
	採気量	7.38 L
	破過の有無	無
	評価結果	濃度基準値の17倍の濃度で破過しない条件が示されており、同じ条件であれば2倍の濃度でも破過しないと評価できる。
備考	—	
測定上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・テトラクロロジフルオロエタンや使用する試薬についてラベルやSDSを最初に確認し、作業のリスクに応じてドラフト、適切な保護具の使用等のばく露低減対策を講じる。 ・二硫化炭素は皮膚等障害化学物質であるため、作業手順に応じて適切な化学防護手袋を着用する。 	

その他の測定法

—